

磐城時報

石城郡石城町平野屋敷十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加賀屋活版所
電話 一四七
一、廣告料 一行十文字五拾錢
二、印刷料 一行十文字五拾錢
三、代印料 一行十文字五拾錢
四、日刊（日曜、祭日）休刊

多門將軍を迎え 平町で九名の慰靈祭

昨夜歓迎方法協議 第一、第二校で講演會と歓迎會

多門凱旋將軍は三月七日平町に後三時から第二小學校講堂で官來る事になった。在郷軍人開民合同の歓迎會を開催する事に係では昨報の如く二十八日午後三時、慰靈祭典は石城郡在郷六時から平町役場に於て歡迎方軍人會並に石城郡町村長會で聯法を協議した結果最初の計劃と合して主催する筈である。

小川村長 遣責處分

行ふ豫定であつたけれども、四月十日の祭禮は櫻花に魁けた恒石城郡上下小川村匡救工事に例の催はしであり、古來の戦病らまる不正事件は既報の如く平死者の慰靈祭であるから繰上げ署の取調終了當面の責任者田見ない事にし、七日には午前十一時（四四）は送局されるに至つ時満洲事變の死者九名の慰靈祭だが、同工事執行の責任者である松ヶ岡公園忠魂碑前で行ふ事同村々長白井菊造氏は遣責處分に決定。正午から第一小學校庭分に附する事に決定今明中に處多門將軍の講演會を開き、午分される筈。

委員會で問題となつた 水道料と學校問題

平町明年年度豫算 二千八百圓増額に決定

平町昭和八年年度豫算は昨日二日町が結果二千八百六十一圓の増額を開き議決する筈で過般來委額する事になつたが、之は大体員會で審議中であつたが、二十に於て各小學校低學年尋常二年八日審議を終了した。提出され生まで十一學級並に夜學の公民た總額三十三萬六千九百六十圓學校にストーブを置く費用と小の全般に亘つて詳細な調査を遂學校、平商業學校の教員慰勞金

災害扶助法實施以來 最初の請求訴訟

松野尾辨護士を代理とし 二十八日平支部に提起

労働者災害扶助法が實施されて十五圓の扶助料請求訴訟を提起以來數年を経過したが、平支部するに至つたものである。

三名の愛兒を捨て 人妻情婦と駈落

内郷村大字宮字金坂農人見三吉業者は年度末契約更改期に際し妻と（二四）は同郡磐崎村大字過般來鐵道省に納炭増額運動を續けて来たが、諸物價並に勞銀安くなり去る廿三日夫及び誠次の下に二名の愛兒を捨て駆け落ち那須温泉方面に逃走した形跡がある三吉からその筋に捜索方を願ひ出た。

母の愛に 動かされた

星野の告白
共産黨事件に連座の嫌疑者として其筋に捕はれ取調を續けられた平町三丁目星野二郎は思想轉換を理由とし起訴留保となつたが、星野の最近の告白は左の如くである。

三阪出身馬目君の 遺骨きのふ到着

戦死者同様に 四日村葬を執行

石城郡三阪村出身若松歩兵二十日四日午前十時から中三阪小學校九聯隊上等兵馬目君は滿洲校で村葬を執行する事になつた事變に出征負傷したため奉天野戰病院で治療中であつたが死亡し遺骨は二十八日郷里に到着し山炭礦第四坑々夫赤津鶴吉（四）は二十八日午後二時頃坑内死者として總てを取扱ふ事となつて作業中落盤で壓死を遂げた。

赤井、永戸の縣道 九千圓で改修工事

一ヶ月で完成の豫定

石城郡赤井、永戸兩村に亘る縣道九千餘圓を以て兩村を通ずる道路を開鑿する事に決定、地元の意見を質したところ地元希望にや、副はざるどころあり着手するが中止となつたが注目されて居たが、縣の方針通り同工費を以て地元兩村の請負で行ふ事になつたが、あつた期間が一ヶ月きりないので大馬力をかけて行ふ筈。

ハガキ集

町民に敬す 一町民
（上）
先年の新築校舎を一見し唯人が誠立派な校舎なりと認識するものありや、恐らくは當時の工事委員諸君と受負業者二者あるのみである事と思ふその美事で無い校舎に接續して建築する事は賛成できぬ。諸君よ、まあ接續すれば何か不正工事でもあつた云ふのかね。接續による町費の軽減は約一千五百圓也と云ふぞうな。そんな費出をしてまで町財政疲弊を良くも口に出せぬものだと思ふでなう。それよりも一増するが如き愛町精神の發露的決議をした事を記そう。

石城郡赤井、永戸兩村に亘る縣道九千餘圓を以て兩村を通ずる道路を開鑿する事に決定、地元の意見を質したところ地元希望にや、副はざるどころあり着手するが中止となつたが注目されて居たが、縣の方針通り同工費を以て地元兩村の請負で行ふ事になつたが、あつた期間が一ヶ月きりないので大馬力をかけて行ふ筈。

豫告中の發賣品は

満海 うせな心

でした。御一人前...十五錢で満腹

魚沼會堂

電話六三三番

家傳秘法腫物湯

のんで効くはれ物の妙藥

主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前後効一等よし

内科 小兒科

花柳病科 (入院應需)

藤沼醫院

平町紺屋町 電話平四七五〇七番

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡 安齊外科醫院

電話四七五

忘るな一聯盟勸告案

備へよ!! 經濟對鎖の毒瓦斯

●全大和民族最後の決意表明の秋は来た! 國土を焦化させるも帝國の國是を死守せざる可らず

◎憂國の士よ來り聴け!

堂々五時間の大熱辯

講師 誠忠會理事 白石玄海先生

期日 三月一、二日(舊六、七日)午後六時(時間確保)

場所 樂館 (晴雨に不拘)

軍事大講演會

演題 (二日間に亘り論述す)

- 一、太平洋争覇 日米戦争勝敗論
一、暴戾無比 〇國 侵 略 史
一、盡忠報國 献 金 伍 長 君
一、昭和烈婦 井上中尉夫人の死
一、乾坤一擲 第二世界戦争
一、肉弾列車 噫! 荒木中尉
一、昭和謙信 多門二郎中將
一、國難突破 武士道精神
一、聖代恨事 明治大正昭和暗殺事件
一、正々堂々 國際聯盟脱退論

主催 東京府教化團體聯合會 後援 誠忠會 平町軍人青年會

處方調劑 藥品一般 体温計

山野邊藥局

郷土生藥研究 和漢藥療法

東華皇漢研究所

顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生 藥劑士 山野邊東次郎

大藏省允許 磐城無盡 自月更生 無盡の 簡易 金融 趣味 貯蓄

木村病院 電話一六四番

上田外科醫院 電話一二九番

藤沼醫院 電話五〇七番

毒校 腸胃 専門 皮膚病 婦人病 淋病 十二指 腸胃病 胃性病 腸性病

和洋銅鐵金物問屋

久益屋商店

諸橋久太郎 電話九九九番

折詰造 儀用式

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 藤寅 電話一四一番

耳鼻咽喉科 専門

平町田町七十番地

山内醫院

入院隨意 病室完備 醫學士 山内亨吉 電話六九一番

滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒「栗守酒」

朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は睡眠の助力 栗守酒特約店 大平屋藥店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二)